

オークCMS操作マニュアル

～ウェブアクセシビリティを損なわないための操作方法と注意点～

2025.06 Ver.01

<注意点>

- ウェブアクセシビリティに関する対応基準は「WCAG 2.0(Web Content Accessibility Guidelines 2.0)」および「JIS X 8341-3:2016」をもとにしています。
- 当資料の情報は2025年6月時点の情報です。画面表示や機能には変更が入る場合もございます。
- ご利用いただいているエンジンのバージョンによっては、一部対応されていない画面表示や機能もございますのでご了承ください。



目次

1. オークCMSにおけるウェブアクセシビリティ対応
2. 「WCAG 2.0 ガイドライン」と操作の対応表
3. アクセシビリティを損なわないための操作方法と注意点

① テキスト入力

1. 読み上げツールに対応した適切な「見出し」を設定する
2. 順序立った「箇条書きリスト」「番号付きリスト」を設定する
3. 文字を強調させる
4. 分かりやすいリンクテキストを設定する
5. 無意味なスペースや改行、記号や略した文字は使わない

② 画像の作成や挿入

1. 画像登録時に「タイトル」を設定しておく
2. 「画像の説明」(alt 要素)を設定する
 1. ロゴや見出し画像など主に文字で構成される画像の場合
 2. 図や写真、イラストの場合
 3. 意味を持たない画像の場合
3. テキストが入った画像を作成・挿入する場合の注意点

③ 表の作成

1. 表の行や列、セルの中身はWYSIWYG上で指定・入力する
2. 表の説明(caption 要素)を入れる
3. 表の見出しを指定する

④ 動画データの埋め込み

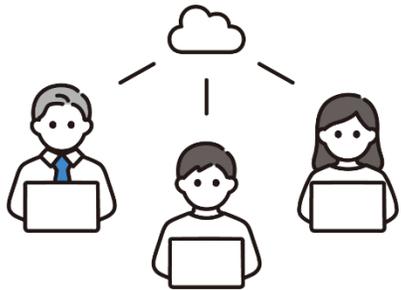
1. MP4形式の動画を埋め込む場合
2. YouTube動画を埋め込む場合

1. オークCMSにおけるウェブアクセシビリティ対応



□ サイト制作・リニューアル時

お客様のウェブアクセシビリティ方針と目標基準に対応したサイトリニューアルにむけてカラーコントラストに配慮したデザイン、キーボード操作や読み上げソフトの利用を前提としたコーディング、試験実施や結果公開までのトータルサポートが可能です。
お気軽にご相談ください。



□ 公開後のサイト運用時

CMSによるサイト運用においてウェブアクセシビリティ基準を維持継続するためには、**更新される方のリテラシーや、入力時のルール策定&社内展開が重要なポイント**となります。
そのため運用開始時には、操作のポイントをレクチャー、サポートさせて頂いております。

このマニュアルでは

主にオークCMSに実装している「WYSIWYGエディター※」上の操作において
アクセシビリティを損なわないための注意点および方法をご案内いたします。

※ HTMLの知識が無くてもWord感覚でウェブページの作成が行える入力形式のこと。

2. 「WCAG 2.0 ガイドライン」と操作の対応表

(注)WCAG は、インターネットの各種技術を標準化する国際的な非営利団体であるW3C(WorldWideWebConsortium)が作成した、ウェブアクセシビリティのガイドラインです。
WCAG2.0 と ISO/IEC40500:2012 と JISX8341-3:2016 は一致規格です。

※各ガイドラインにおいて、達成レベルAAまでの達成基準を抜粋表示しています。(レベルAAAの達成基準に対応する操作説明なし)

原則	ガイドライン	達成基準と達成レベル		オークCMS操作に関連する操作内容
1 知覚可能	1.1 すべての非テキストコンテンツには、拡大印刷、点字、音声、シンボル、平易な言葉などの利用者が必要とする形式に変換できるように、テキストによる代替を提供すること。	1.1.1 非テキストコンテンツ	A	②-2「画像の説明」(alt 要素)を設定する
		1.2 時間依存メディアには代替コンテンツを提供すること。	1.2.1 音声のみ及び映像のみ(収録済)	A
		1.2.2 キャプション(収録済)	A	
		1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替(収録済)	A	④-1,2 動画データの埋め込み
		1.2.4 キャプション(ライブ)	AA	
		1.2.5 音声解説(収録済)	AA	
	1.3 情報、及び構造を損なうことなく、様々な方法(例えば、よりシンプルなレイアウト)で提供できるようにコンテンツを制作すること。	1.3.1 情報及び関係性	A	①-1 読み上げツールに対応した適切な「見出し」を設定する ①-2 順序立った「箇条書きリスト」「番号付きリスト」を設定する ①-3 文字を強調させる ③-1 表の行や列、セルの中身はWYSIWYG上で指定・入力する ③-2 表の説明(caption 要素)を入れる ③-3 表の見出しを指定する
		1.3.2 意味のある順序	A	①-5 無意味なスペースや改行、記号や略した文字は使わない
		1.3.3 感覚的な特徴	A	①-5 無意味なスペースや改行、記号や略した文字は使わない
	1.4 コンテンツを、利用者にとって見やすく、聞きやすいものにする。これには、前景と背景を区別することも含む。	1.4.1 色の使用	A	
1.4.2 音声の制御		A	④-1,2 動画データの埋め込み	
1.4.3 コントラスト(最低限)		AA	②-3 テキストが入った画像を作成する場合の注意点	
1.4.4 テキストのサイズ変更		AA	①-1.読み上げツールに対応した適切な「見出し」を設定する	
1.4.5 文字画像		AA		

原則	ガイドライン		達成基準と達成レベル		関連する操作内容
2 操作可能	2.1	すべての機能をキーボードから利用できるようにすること。	2.1.1 キーボード	A	
			2.1.2 キーボードトラップなし	A	
	2.2	利用者がコンテンツを読み、使用するために十分な時間を提供すること。	2.2.1 タイミング調整可能	A	
			2.2.2 一時停止、停止、非表示	A	
	2.3	発作を引き起こすようなコンテンツを設計しないこと。	2.3.1 3回の閃光、又は閾値以下	A	
	2.4	利用者がナビゲートしたり、コンテンツを探し出したり、現在位置を確認したりすることを手助けする手段を提供すること。	2.4.1 ブロックスキップ	A	①-1 読み上げツールに対応した適切な「見出し」を設定する
			2.4.2 ページタイトル	A	
			2.4.3 フォーカス順序	A	
			2.4.4 リンクの目的（コンテキスト内）	A	①-4 分かりやすいリンクテキストを設定する
			2.4.5 複数の手段	AA	
2.4.6 見出し及びラベル			AA	①-1 読み上げツールに対応した適切な「見出し」を設定する	
2.4.7 フォーカスの可視化			AA		

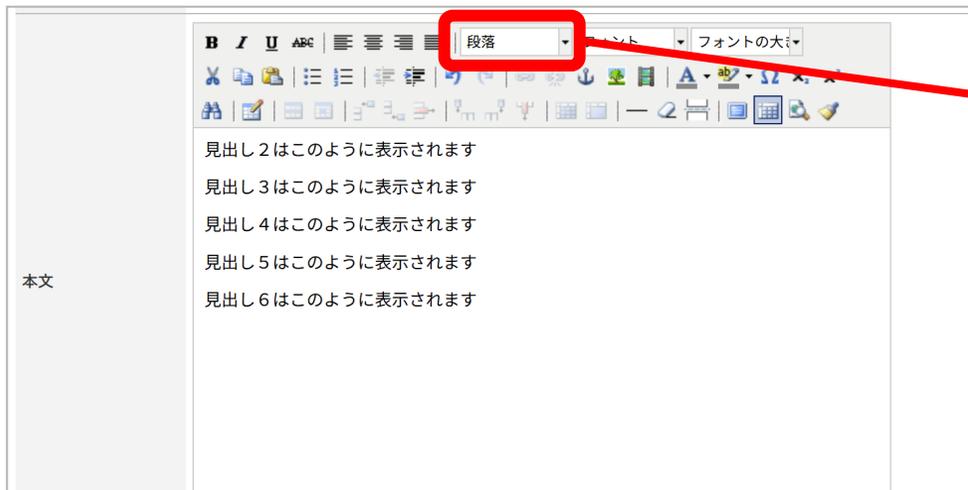
原則	ガイドライン		達成基準と達成レベル		関連する操作内容
3 理解可能	3.1	テキストのコンテンツを読みやすく理解可能にすること。	3.1.1 ページの言語	A	
			3.1.2 一部分の言語	AA	
	3.2	ウェブページの表示や挙動を予測可能にすること。	3.2.1 フォーカス時	A	①-4 分かりやすいリンクテキストを設定する
			3.2.2 入力時	A	
			3.2.3 一貫したナビゲーション	AA	
			3.2.4 一貫した識別性	AA	
	3.3	利用者の間違いを防ぎ、修正を支援すること。	3.3.1 エラーの特定	A	
			3.3.2 ラベル又は説明	A	
3.3.3 エラー修正の提案			AA		
3.3.4 エラー回避（法的、金融、データ）			AA		
4 堅牢	4.1	現在及び将来の、支援技術を含むユーザエージェントとの互換性を最大化すること。	4.1.1 構文解析	A	
			4.1.2 名前 (name) ・役割 (role) 及び値 (value)	A	

3. アクセシビリティを損なわないための 操作方法と注意点

①テキスト入力

①-1.読み上げツールに対応した適切な「見出し」を設定する

①「書式」が初期値(段落)の状態のままでテキストを入力していきます。

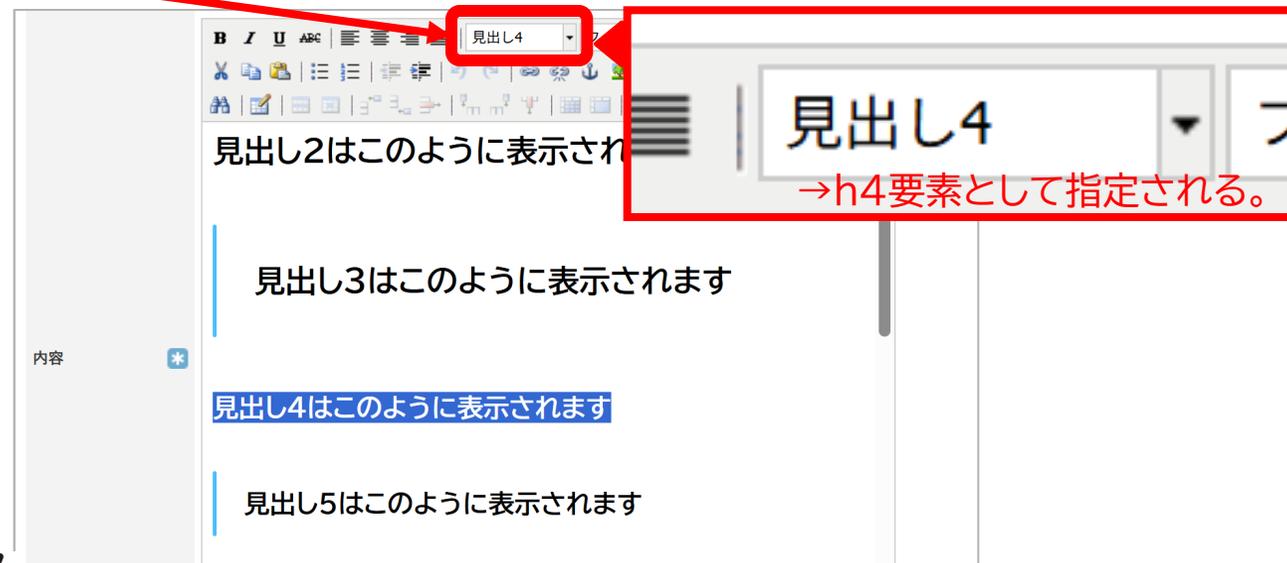


②見出しにしたいテキストを範囲指定します。

💡見出しは、そのセクションの内容を簡潔かつ明確に表現する内容で表しましょう。
(「2.4.6 見出し及びラベル」への対応)

💡WYSIWYGエディター内で「フォントの大きさ」を指定すると表示サイズが固定されブラウザ側の拡大機能に対応しなくなります。
大きさを指定せず見出しで設定してください。

③範囲指定した状態で、「書式」のプルダウンから適切な見出し番号を選択します。



💡読み上げツールは段落の見出しをh1→h2→h3...と数値の順番を認識して理解します。
タブキーによるスキップ操作や、段落冒頭へ戻るなどの操作に対応するうえで、見出しレベルを飛ばして使用しない等、正しい文書構造で見出しを設定する必要があります。

達成基準	
1.3.1 情報及び関係性	
1.4.4 テキストのサイズ変更	
2.4.1 ブロックスキップ	
2.4.6 見出し及びラベル	

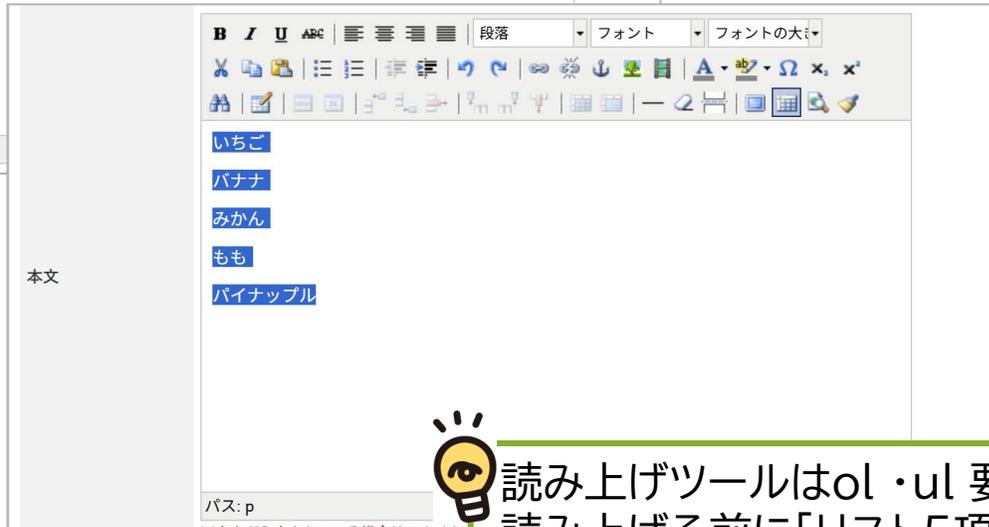
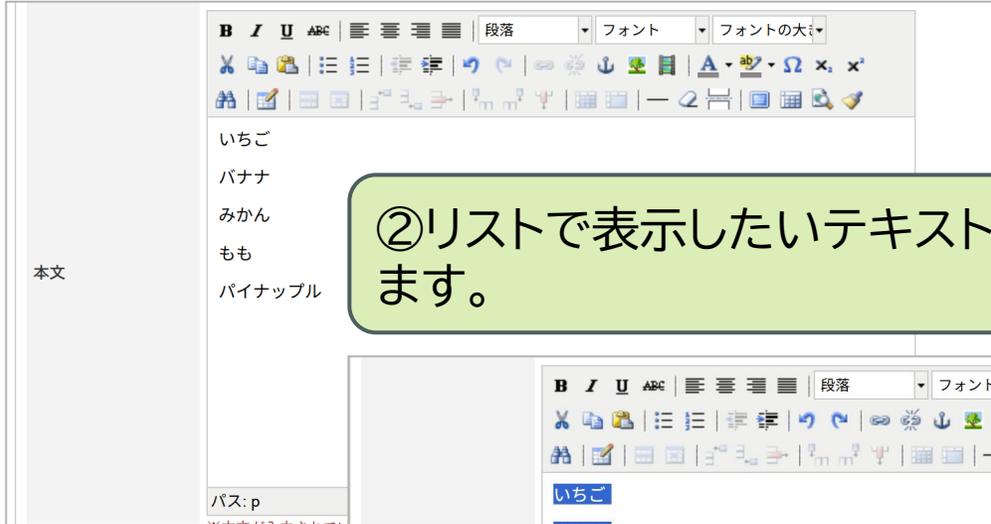
①-2.順序立った「箇条書きリスト」「番号付きリスト」を設定する

達成基準 1.3.1 情報及び関係性

①「書式」が初期値(段落)の状態のままでテキストを入力していきます。

②リストで表示したいテキストを範囲指定します。

③範囲指定した状態で、「番号なしリスト」を選択すると箇条書きに「番号つきリスト」を選択すると番号付きで表示されます。



→番号なしリスト(ul 要素)として指定される。



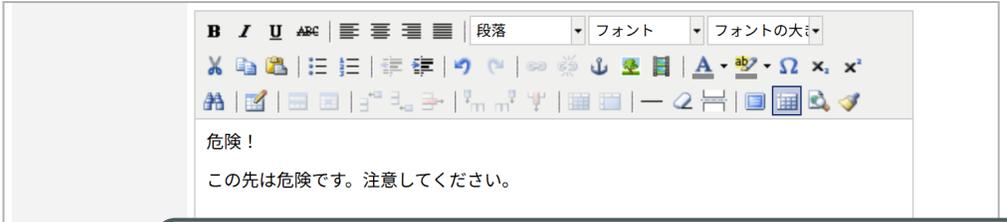
→番号つきリスト(ol 要素)として指定される。



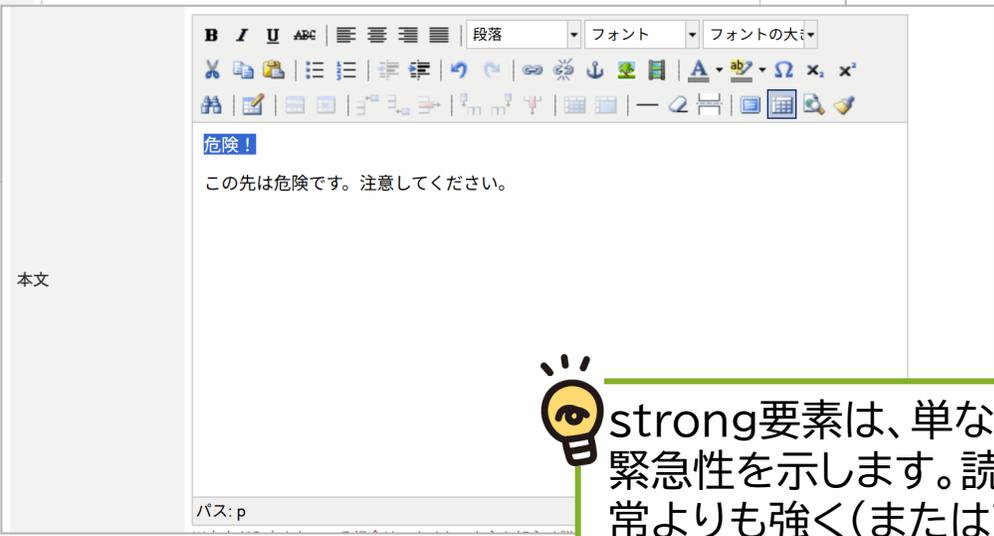
読み上げツールはol・ul 要素でリストと認識すると、リスト項目を読み上げる前に「リスト5項目」と読み、いちご、バナナ、みかん…パイナップルと読み上げ最後に「リスト終了」と読み上げます。そのためユーザーは情報を把握しやすくなります。

①-3.文字を強調させる

①「書式」が初期値(段落)の状態のままでテキストを入力していきます。



②協調したいテキストを範囲指定します。

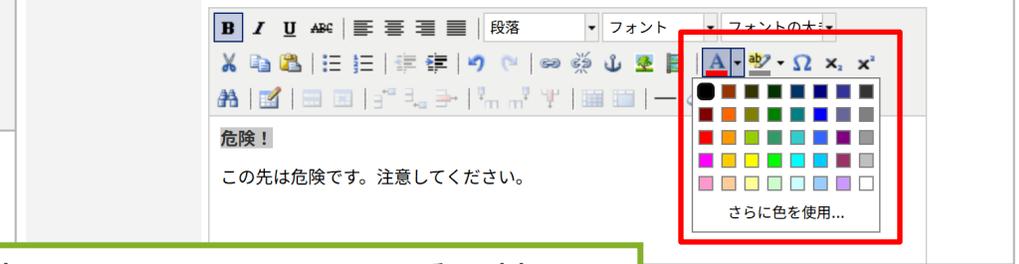


③範囲指定した状態で、「B(太字)」を選択すると太字となり強調表示されます。



→strong 要素として指定される。

※「B」で強調したうえで、さらに「文字の色」から色を変更して強調を強めても構いません。

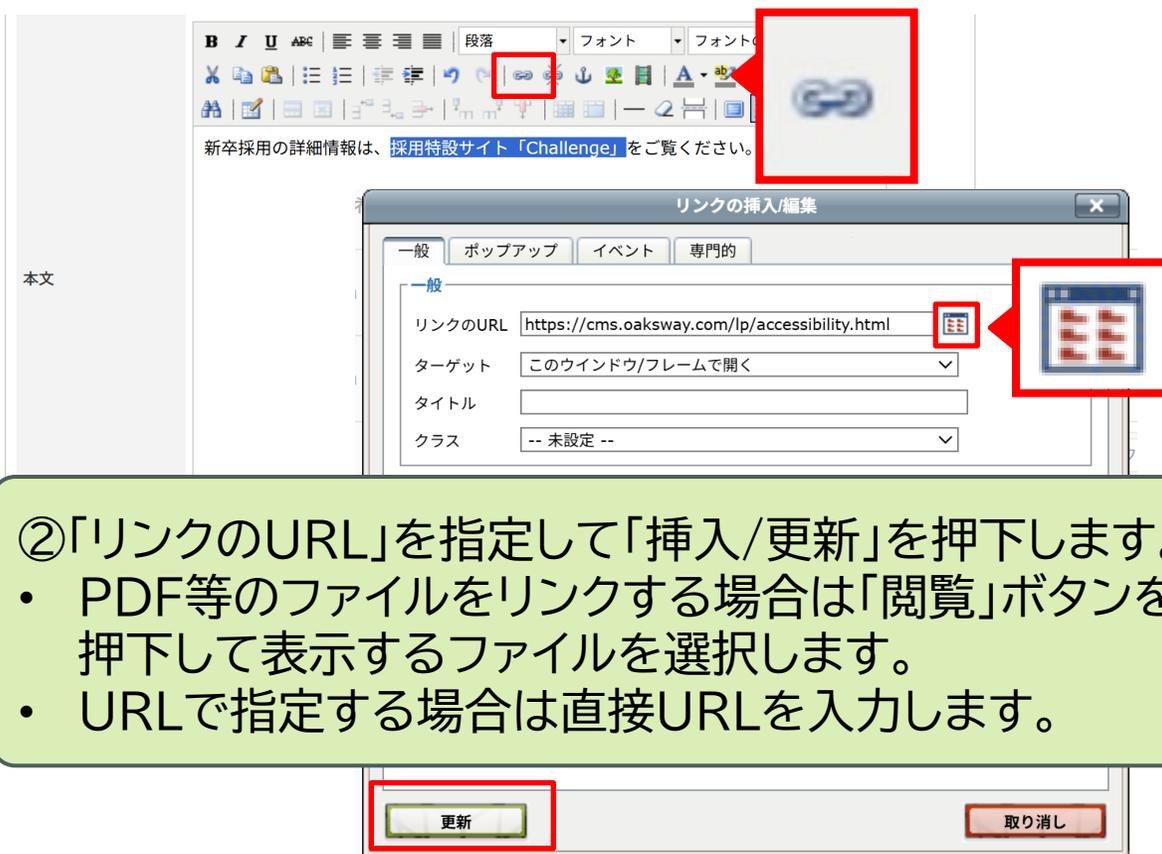


 strong要素は、単なる装飾的な太字ではなく、テキストの重要性や緊急性を示します。読み上げツールはstrong要素を認識すると、通常よりも強く(または高音で)読み上げ、ユーザーは重要な情報を聞き取りやすくなります。見た目を優先して「色だけ」や「下線(U)」で指定しないようにしましょう。

①-4. 分かりやすいリンクテキストを設定する

達成基準 2.4.4 リンクの目的 (コンテキスト内)
3.2.1 フォーカス時

① テキストだけでリンク先が分かることに留意して、テキストを範囲指定し、「リンクの挿入や編集」を押下します。



リンクの挿入/編集

一般 ポップアップ イベント 専門的

一般

リンクのURL

ターゲット

タイトル

クラス

② 「リンクのURL」を指定して「挿入/更新」を押下します。

- PDF等のファイルをリンクする場合は「閲覧」ボタンを押下して表示するファイルを選択します。
- URLで指定する場合は直接URLを入力します。

テキストだけでリンク先が分かることとは？
リンクテキストだけで判断ができないとユーザーは前後の文脈も確認しなければならなくなり効率が低下してしまいます。

- 新卒採用の詳細情報は採用特設サイト「Challenge」をご覧ください。
- 新卒採用の詳細情報は「こちら」「ここをクリック」等

💡 ケース別リンク設定ポイント

- 別ウィンドウでのリンク設定
必要となすのみリンク先を新しいウィンドウ及びタブで開くようにします。またその際には、ユーザーに事前に知らせることが推奨されます。(混乱の原因となりうるため)

- 外部サイトへのリンク
外部リンク用のアイコン画像を付け、さらにそのalt要素で外部サイトへリンクすることを説明してください。

- ファイルへのリンク(PDFやWordなど)
ファイル形式とファイルサイズを明記してください。

①-5.無意味なスペースや改行、記号や略した文字は使わない

- 見た目を整えるための文章途中のスペースや途中改行はしないようにしましょう。
- 原則として形に依存した表現ではなく、そのまま読んでも意味が通じる表現をしましょう。やむを得ず記号を使う場合は、記号の初出箇所で凡例をつける等で補いましょう。

達成基準 1.3.2 意味のある順序
1.3.3 感覚的な特徴

例)無意味なスペースや強制改行を入れない
読み上げツールが別の単語として認識したり、
正しく読めなかったりする場合があります。

✕ 東 京 都

✕ 東(改行)
京(改行)
都

「ひがし きょう みやこ」と読み上げられる。

例)数字は半角を使用する

小数点や位取りの点を含む数値を全角で表記すると
意図したとおりに読み上げられません。

3, 000(全角)

「さんぜろぜろぜろ」と
読み上げられる。

0, 52(全角)

「ぜろごじゅうに」と
読み上げられる。

例)記号や省略表記の使用に注意する

読み上げられない記号の例

□ ◇ ○ × + = * ※ ¥ \$ m(_)m

読み上げられる記号の例

@ 〒 ~

数字と並べて記述する場合のみ読み上げられる記号の例

% / (~ぶんの) - (~の)

○ 令和5年5月15日(月曜日) 14時00分～ 15時00分
場所:株式会社オーク 注)参加費¥500当日徴収します。

✕ R5 5/15(月) 14:00～ 15:00
@(株)オーク ※参加費¥500

「あーるご じゅうごぶんのご がつ じゅうよんぜろぜろ から じゅうごぜろぜろ
あつとまーく かぶおーく さんかひごひやく」と読み上げられる。

3. アクセシビリティを損なわないための 操作方法と注意点

②画像の作成や挿入

②-1. 画像登録時に「タイトル」を設定しておく

達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ

①メニューから「ファイルの管理」>「ファイルのアップロード」を押下します。

②アップロード先フォルダを選択し、画像をドラッグ&ドロップ(もしくはクリック)で選択し、「確認」ボタンを押下します。



③「タイトル」に**画像の内容が伝わる名称**を設定します。



ここで設定したタイトルは、**画像挿入の際に「画像の説明(alt要素)」の初期値として反映**されます。

altの設定モレを防ぐためできる限り設定しておきましょう。

ただし同じ画像でもページの内容によってalt属性にふさわしい内容が異なるケースや、不要なケースもあります。その場合は次ページ以降を参考にして、「画像の説明」でふさわしいalt要素に変更してください。

②-2.「画像の説明」(alt 要素)を設定する

1.ロゴや見出し画像など主に文字で構成される画像の場合

達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ

①画像を入りたい箇所にカーソルを置き、「画像の挿入や編集」ボタンを押下します。



②「画像を挿入/編集」のポップアップ画面が開きます。「画像のURL」の横にあるボタンを押下します。



③挿入する画像を選択し、貼り付けサイズも選択します。
※「ファイルの管理」への画像登録方法は②-1をご参照ください。



②-2.「画像の説明」(alt 要素)を設定する

2.ロゴや見出し画像など主に文字で構成される画像の場合

達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ

④選択した画像がプレビューに表示されたことを確認し、「画像の説明」(alt 要素)に**画像の中にある文字と同等の内容**を入力して「挿入」ボタンを押下します。

→例:会社名の画像であれば「株式会社●●」

初期値ではファイル管理登録時に「タイトル」に入れたテキストが表示されている。

alt属性は画像の内容を代替するテキストで、読み上げツールが画像の内容を音声で読み上げる際に使われますので、コンテンツに対し意味のある画像を登録する際は正しい内容で設定しましょう。オークCMSでは、「画像の説明」が空欄のまま「挿入」ボタンを押下するとアラートで入力を促す機能があります。

画像の中にある文字と同等の「OAK CMS」と入力する。

画像の説明を含めずに続けますか? 画像の説明がないと目の不自由な方、テキスト表示だけのブラウザを使用している方、画像の表示を止めての方がアクセスできないかもしれません。

②-2.「画像の説明」(alt 要素)を設定する

3. 図や写真、イラストの場合

達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ

①～③までは「ロゴや見出し画像など主に文字で構成される画像の場合」と同じ操作をします。

④選択した画像がプレビューに表示されたことを確認し、「画像の説明」(alt 要素)に**画像の内容が伝わる文章**を入力して「挿入」ボタンを押下します。



画像自体の視覚的な特徴を説明する必要はないが、画像と同じ意味を伝えなければならない。

○ 「オークオフィス1階の来客用打合せスペース」

✗ 「画像その1」「room」「会社画像1」等



補足:「タイトル(title 要素)」について
画像にカーソルを重ねた際にツールチップ(小さな注釈エリア)として表示されます。視覚的に情報を確認するための補助的な役割を担いますが、読み上げツールではtitle属性を読み上げないものもあるため補足的に利用するに留めてください。

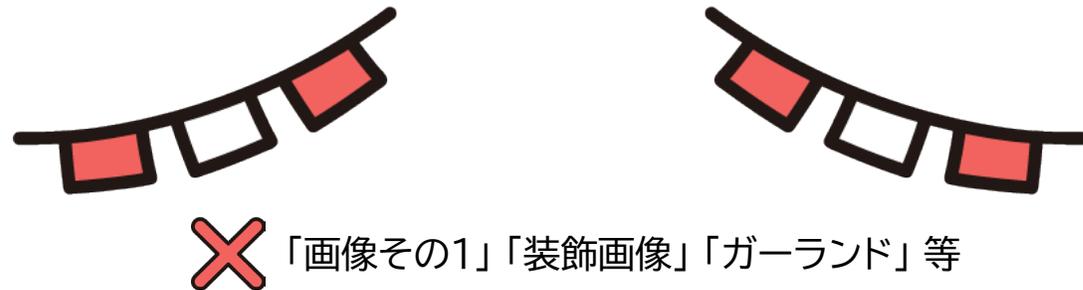
②-2.「画像の説明」(alt 要素)を設定する

4.意味を持たない画像の場合

達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ

①～③までは「ロゴや見出し画像など主に文字で構成される画像の場合」と同じ操作をします。

④選択した画像がプレビューに表示されたことを確認し、「画像の説明」(alt 要素)を空欄にして「挿入」ボタンを押下します。



× 「画像その1」「装飾画像」「ガーランド」等

装飾画像を登録した場合は「画像の説明」を空で設定します。オークCMSでは空欄を自動的に(`alt=""`)つまり空白の代替テキストとするため、読み上げツールはその部分をスキップして(画像を無視して)読み進めます。

なおalt要素自体がない記述だと、読み上げツールによっては画像ファイル名(例: `image.jpg`)をそのまま読み上げてしまうことがあります。

②-3.テキストが入った画像を作成・挿入する場合の注意点

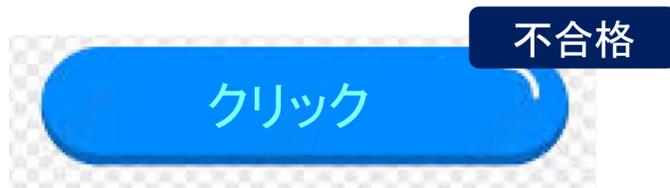
達成基準 1.4.3 コントラスト (最低限)

背景の色と、文字色のコントラスト比率を「4.5:1 以上」になるよう作成してください。

※文字サイズが「18ポイント」又は「14ポイントの太字」であれば「3:1 以上」になるよう作成。

総務省は、公的機関に求めるウェブアクセシビリティ確保レベルとして「適応レベルAA」への準拠を推進しており、達成基準「AA」で求められる達成基準が「4.5:1以上」です。よって公的機関に習って「適応レベルAA」を目標とする場合はこのコントラスト比を最低限として対応する必要があります。

(AA基準 4.5:1)



背景色: #008AFF コントラスト比率
文字色: #7BFFFA 2.8:1



背景色: #FE4342 コントラスト比率
文字色: #FFFFFF 3.4:1



背景色: #FFBA00 コントラスト比率
文字色: #000000 12.2:1



コントラスト比率の確認ができるツールのご紹介

- [Color Tester](#)
スポイトで色を抽出し、簡単にコントラストを確認することができます。
- [Adobe color](#)
適合レベルに応じたコントラストの提案も表示されます。
- [Google Chrome拡張機能「VisBug」](#)
ブラウザ上に配置したあとの画像をカーソル操作で確認することができます。

3. アクセシビリティを損なわないための 操作方法と注意点

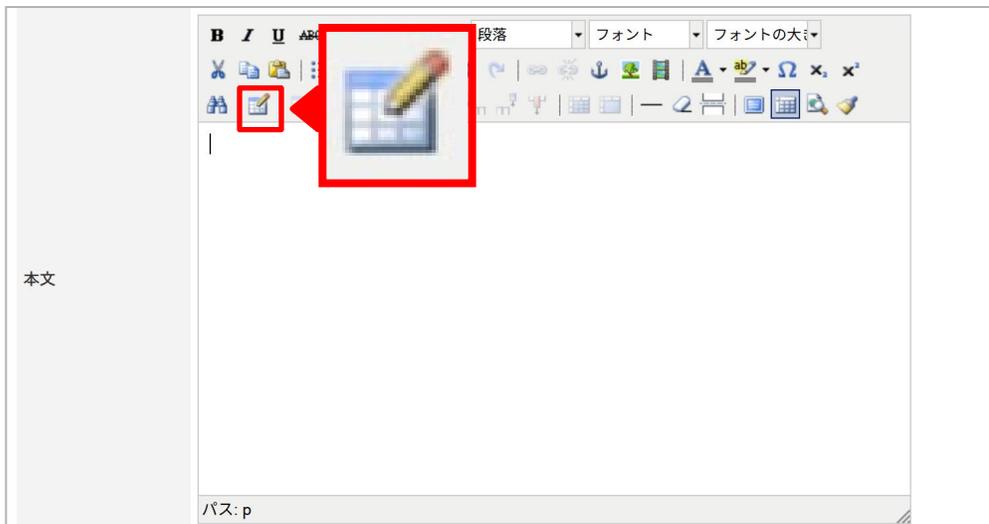
③表の作成

③-1.表の行や列、セルの中身はWYSIWYG上で指定・入力する

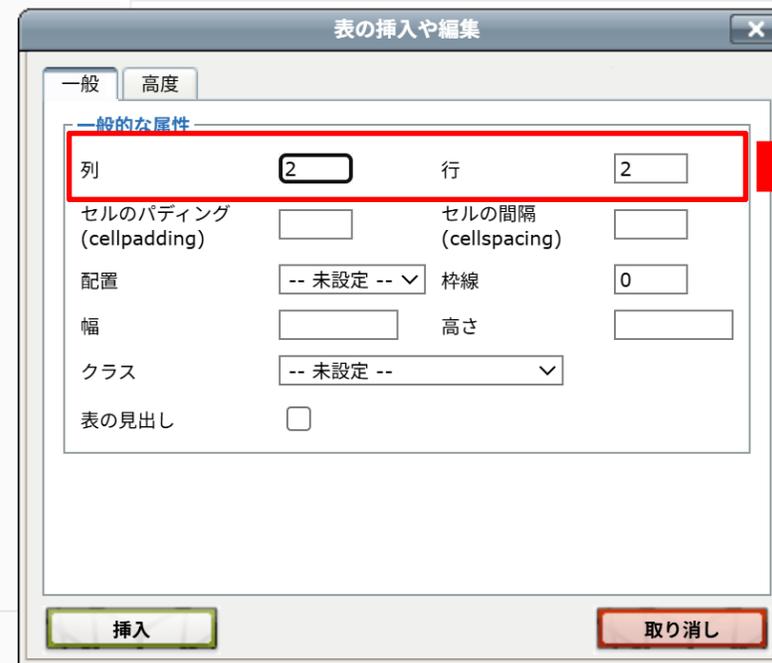
達成基準 1.3.1 情報及び関係性

Excelやワード等から表部分をコピー＆ペーストせず、WYSIWYG内で指定・入力してください。別ファイルからコピー＆ペーストするとソース内に不要な要素が入ることがあり、その場合に読み上げツールが表の構造を正しく理解できず、誤った読み上げをする場合があります。

①表を入りたい箇所にカーソルを置き、「表の挿入」ボタンを押下すると「表の挿入や編集」のポップアップ画面が開きます。



②作成する表に応じて「列」と「行」に数値を入れ「挿入」ボタンを押下すると、WYSIWYG内に表の枠が入ります。



果物の種類と数	
いちご	5個
リンゴ	3個

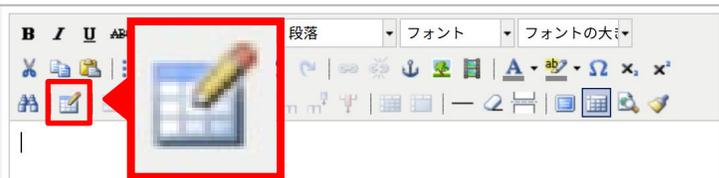
→点線内の各セルに直接テキストや数値を入力する。

パス: table » tbody » tr » th

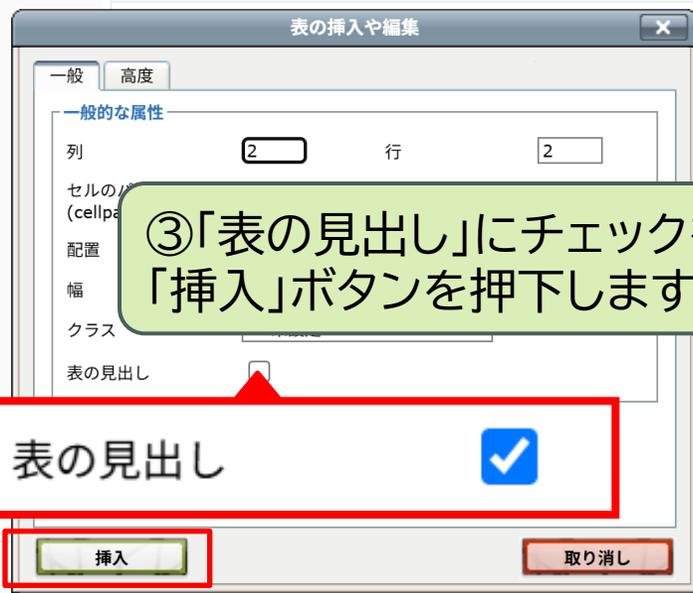
③-2.表の説明(caption 要素)を入れる

達成基準 1.3.1 情報及び関係性

①表を入りたい箇所にカーソルを置き、「表の挿入」ボタンを押下します。



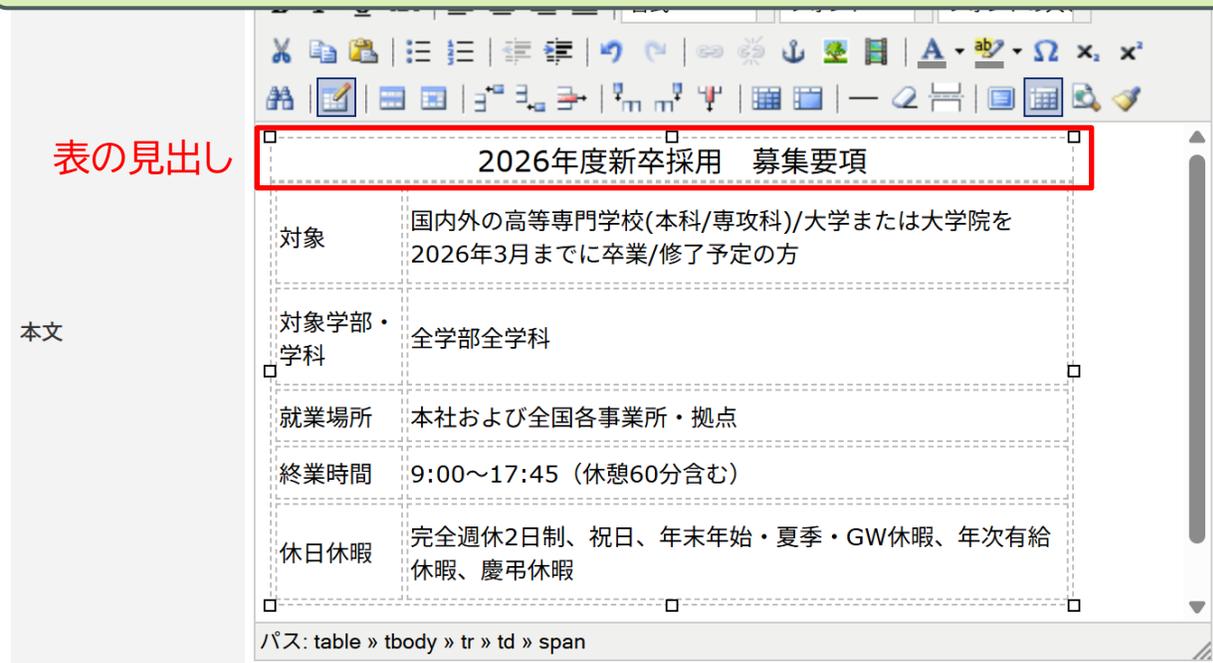
②「表の挿入や編集」のポップアップ画面が開きます。



③「表の見出し」にチェックを入れ「挿入」ボタンを押下します。

④WYSIWYGエディター内に表本体(テーブル)が挿入されますので各セルにテキストや数値を入力します。

⑤表の上部にある見出しエリアに表の説明を入力します。



caption 要素を入れることで、読み上げツールは表の目的をユーザーに読み上げ、内容を理解しやすくします。また表題部分に直接誘導することも可能となります。

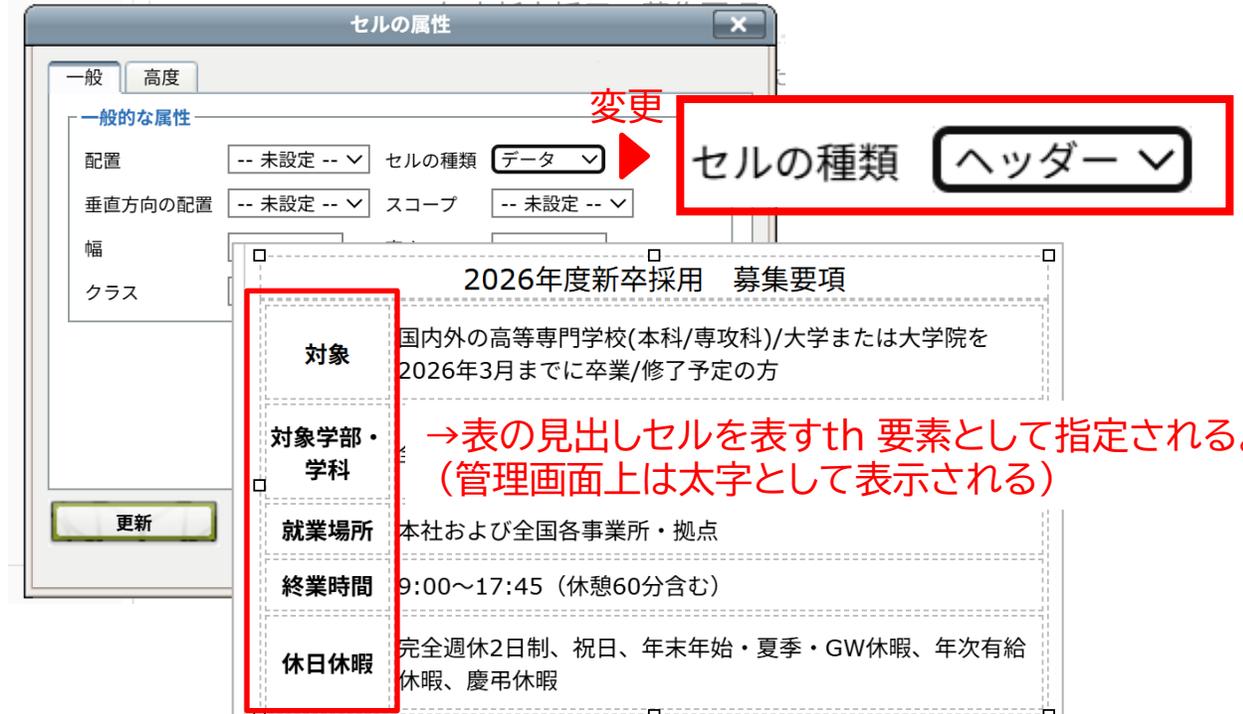
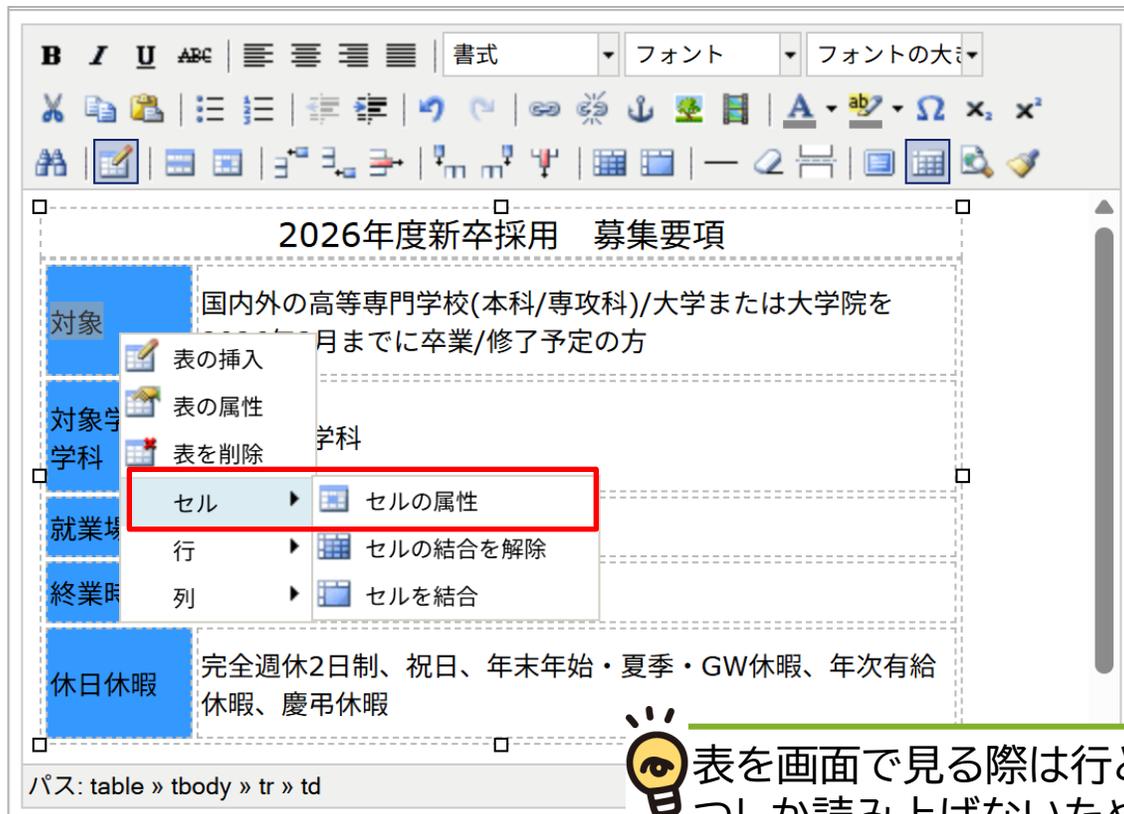
③-3.表の見出しを指定する

達成基準 1.3.1 情報及び関係性

①～④までは「表の説明(caption 要素)を入れる」と同じ操作をします。

⑤見出しに該当するセルを範囲指定し、右クリックで「セル」→「セルの属性」を選択します。

⑥「セルの属性」のポップアップ画面が開きます。「セルの種類」を初期値の「データ」から「ヘッダー」に変更し、「更新」ボタンを押下します。



→表の見出しセルを表すth 要素として指定される。
(管理画面上は太字として表示される)

💡 表を画面で見るときは行と列を同時に把握できますが、読み上げツールは項目を1つずつしか読み上げないため、2次的にレイアウトを把握するため、th要素の設定は重要です。これによってユーザーは表の行と列を関連付けて把握しやすくなります。

3. アクセシビリティを損なわないための 操作方法と注意点

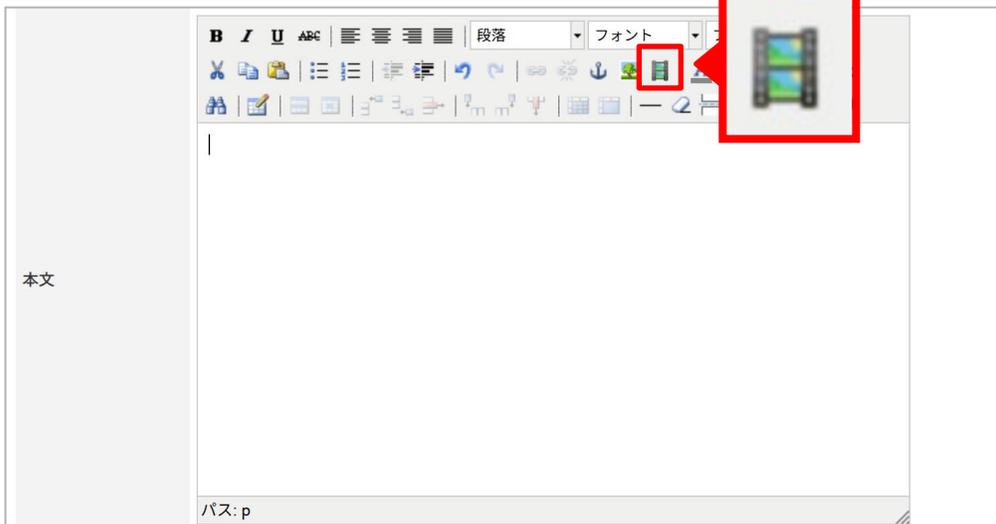
④動画データの埋め込み

④-1.MP4形式の動画を埋め込む場合

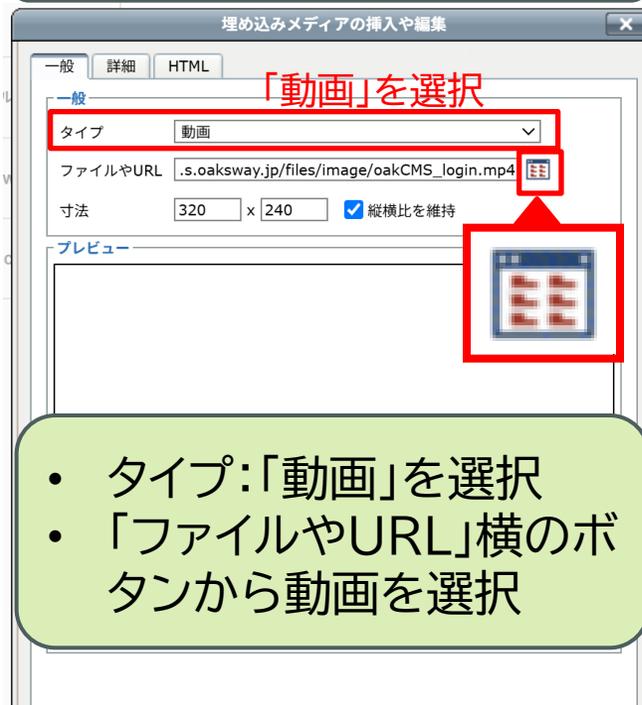
達成基準

1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替（収録済）
1.4.2 音声の制御

①動画をinsertしたい箇所にカーソルを置き、「埋め込みメディアの挿入や編集」ボタンを押下します。



②「一般」タブを選択します。



- タイプ:「動画」を選択
- 「ファイルやURL」横のボタンから動画を選択

③「詳細」タブを選択します。



- 「poster属性」にサムネイル画像を登録
 - 「消音」と「コントローラを表示」にチェック
- ※「自動再生」のチェックは初期値のまま付けない状態

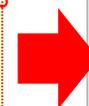
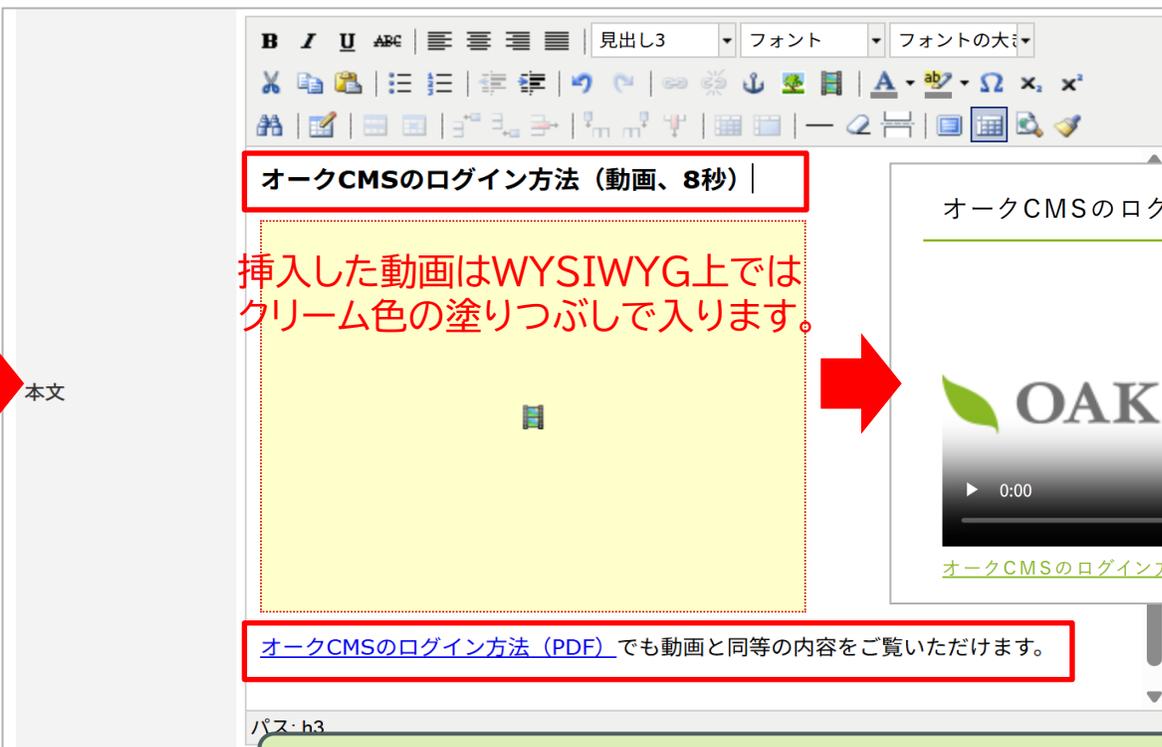


ページを開いたときに動画の音声は自動再生されると、読み上げツールの音声は聞き取りづらくなります。また音声を停止させるメカニズムを探しづらくなる場合があります。そのため動画を挿入する際は以下に注意してください。

- 音声を自動的に再生しない（特に3秒よりも長く続く場合）
- コントローラを表示し、ユーザーで動画停止や音声を消すことができるようにする

④-1.MP4形式の動画を埋め込む場合

達成基準 1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替（収録済）
1.4.2 音声の制御



④「一般」タブに戻り、プレビューに設定したサムネイルが表紙で動画が表示されることを確認し、「挿入」ボタンを押下します。

⑤埋め込んだ動画の上に、動画のタイトルをテキスト入力し、書式を「見出し」で指定します。 ※動画の長さを入れるとより親切です。

⑥キャプションのない動画の場合、埋め込んだ動画の下に動画の内容をテキスト形式で提供するファイル(PDF等)を掲載します。

④-2. YouTube動画を埋め込む場合

①YouTubeで貼り付ける動画ページを開き、「共有」ボタンを押下します。



達成基準 1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替（収録済）
1.4.2 音声の制御

②共有画面から「埋め込む」を押下します。



③動画の埋め込み画面から「コピー」を押下するとリンクがコピーされた状態になります。

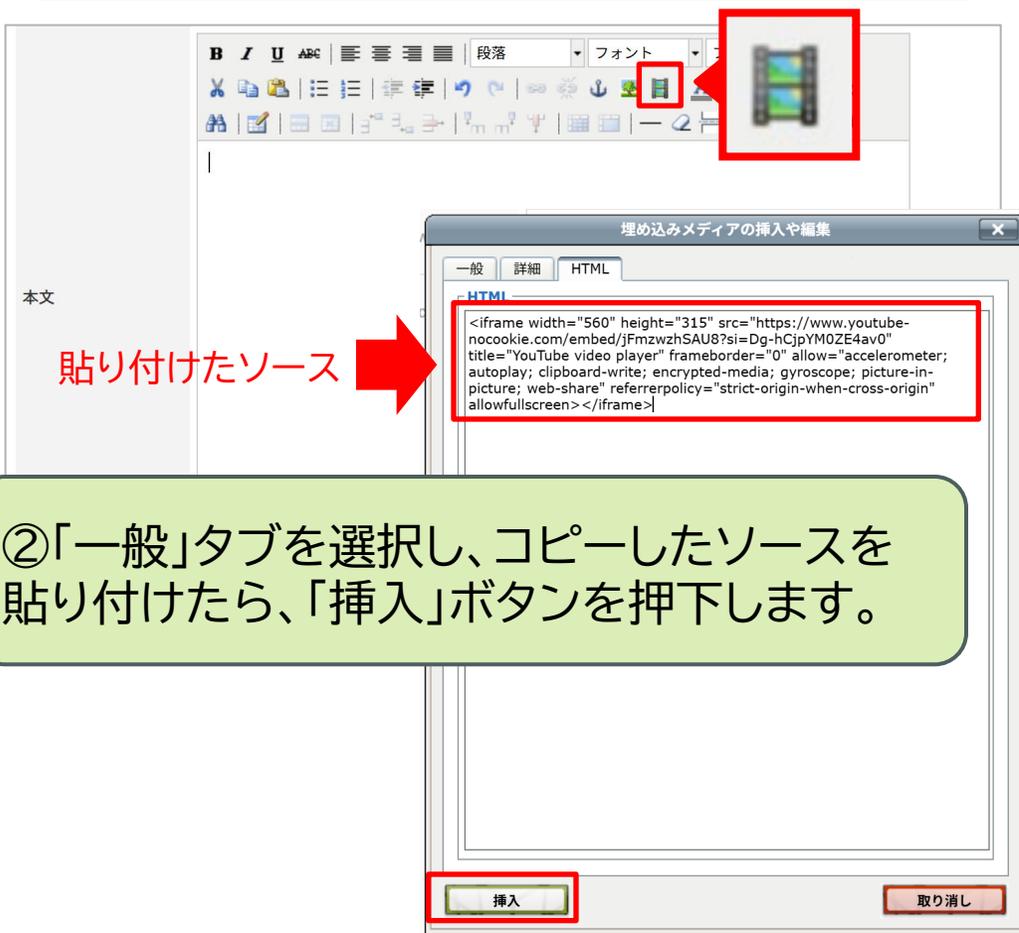


💡「プライバシー強化モードを有効にする。」って何？
チェックを入れることでユーザーのCookie情報を収集せず(個人を特定する情報を保存することなく)動画の再生を可能にします。これによりユーザーのプライバシーを保護してYouTube動画を埋め込むことができます。

次ページへ

④-2. YouTube動画を埋め込む場合

④オークCMS管理画面に戻り、動画を入れたい箇所にカーソルを置き、「埋め込みメディアの挿入や編集」ボタンを押下します。



貼り付けたソース

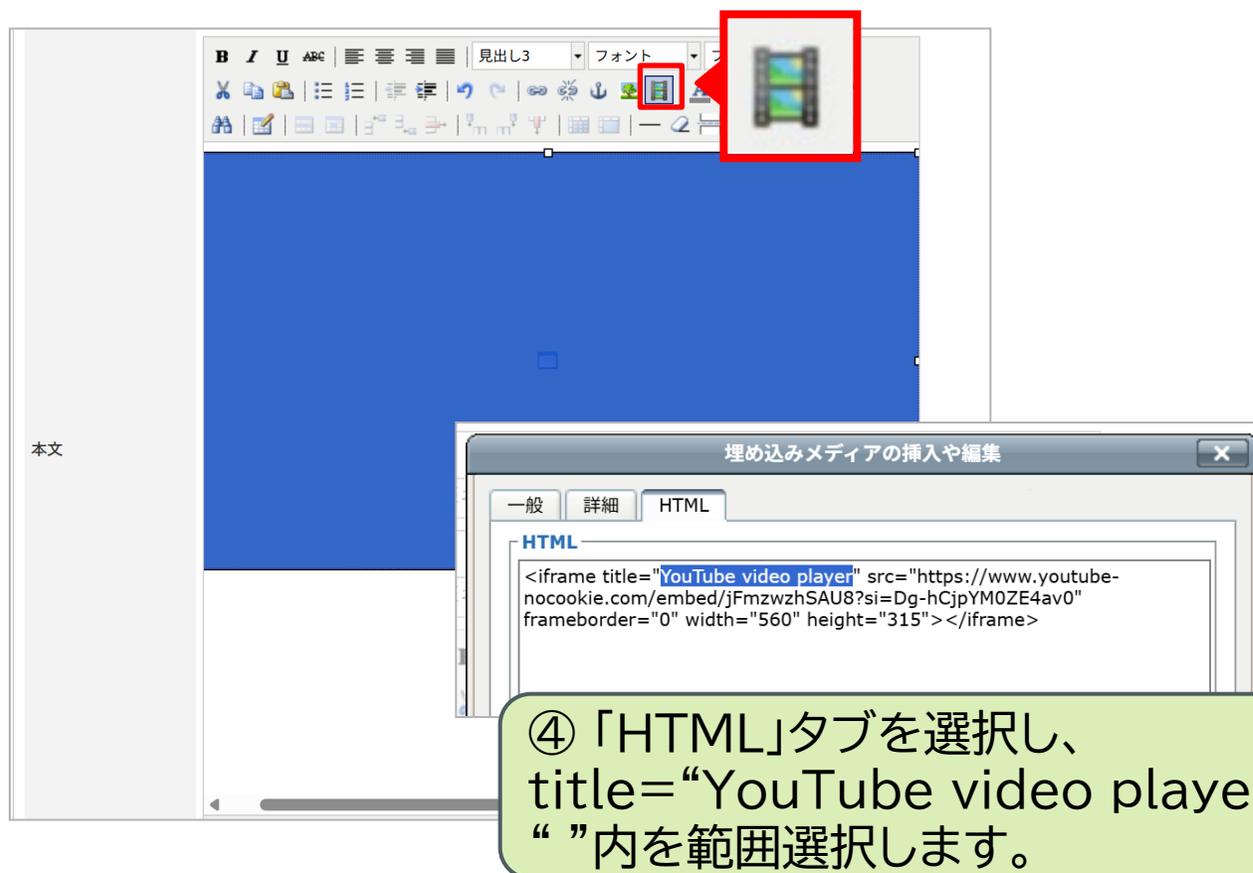
```
<iframe width="560" height="315" src="https://www.youtube-nocookie.com/embed/jFmzwzhSAU8?si=Dg-hCjpYMOZE4av0" title="YouTube video player" frameborder="0" allow="accelerometer; autoplay; clipboard-write; encrypted-media; gyroscope; picture-in-picture; web-share" referrerpolicy="strict-origin-when-cross-origin" allowfullscreen></iframe>
```

挿入

②「一般」タブを選択し、コピーしたソースを貼り付けたら、「挿入」ボタンを押下します。

達成基準 1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替（収録済）
1.4.2 音声の制御

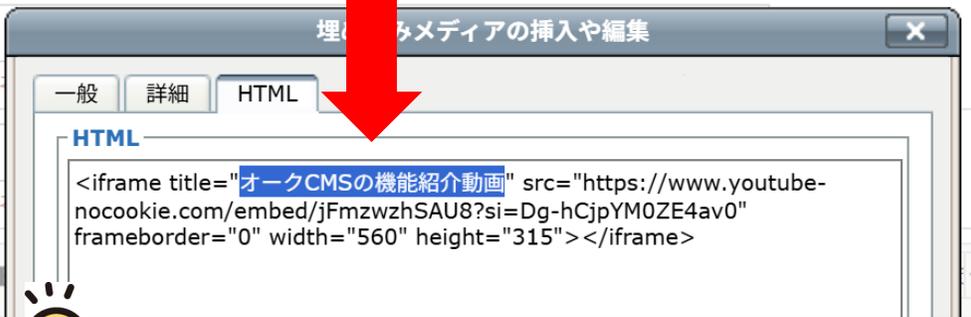
③WYSIWYG内に挿入された動画を範囲指定して、再度「埋め込みメディアの挿入や編集」ボタンを押下します。



④ 「HTML」タブを選択し、title="YouTube video player"の“ ”内を範囲選択します。

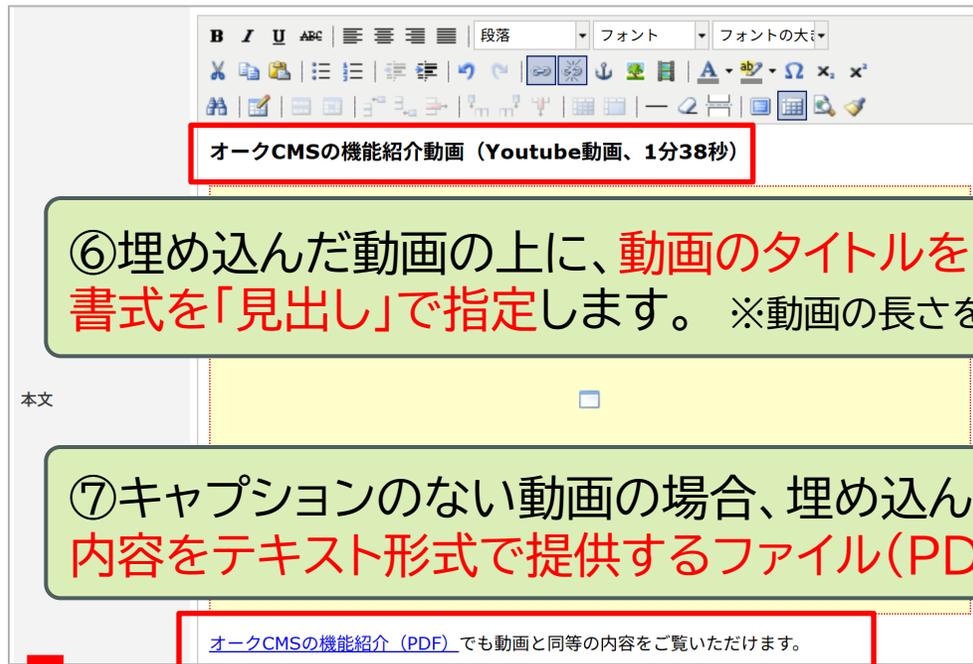
④-2. YouTube動画を埋め込む場合

⑤範囲選択した「YouTube video player」を、動画の内容がわかるタイトルに上書き修正して、「挿入」ボタンを押下します。



💡YouTube動画を埋め込んだままだと、読み上げツールで動画タイトルが“YouTube video player”と読み上げられます。そのためソース上から上書きで変更します。

達成基準 1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替（収録済）
1.4.2 音声の制御



⑥埋め込んだ動画の上に、動画のタイトルをテキスト入力し、書式を「見出し」で指定します。 ※動画の長さを入れるとより親切です。

⑦キャプションのない動画の場合、埋め込んだ動画の下に動画の内容をテキスト形式で提供するファイル(PDF等)を掲載します。

[オークCMSの機能紹介 \(PDF\)](#) でも動画と同等の内容をご覧いただけます。



💡YouTube動画を埋め込んだ際は初期設定で自動再生がオフになっています。